

セネガル国「漁業資源評価管理計画調査」研修を受け入れました。

千葉県水産総合研究センターでは、独立行政法人国際協力機構からの要請に応え、平成18年12月19日(火)に「セネガル国漁業資源評価管理計画調査」の研修を受け入れました。

この研修は、日本における漁業資源管理手法と同手法開発のための研究の実施状況の理解等を目的として、12月10日から12月23日までの日程で実施されているもので、当センターでは「東京湾小型底びき網漁業包括的資源回復計画」及び「千葉県におけるアワビの資源管理の実例」等についての研修が行われました。

当日は、セネガル国海事経済国際海運省海洋漁業局ウンブール県支局長、ダカルチャロイ海洋研究所主任研究員ほか2名の方が来所され、千葉県からは漁業資源課担当者、当センター主幹及び関係研究室長が説明を行いました。

一行は、センターでの研修を終えた後、(財)千葉県水産振興公社白浜事業場でアワビ種苗生産施設を視察し、本県での日程を終了しました。



当センターでの研修風景（1）



当センターでの研修風景（2）



アワビ種苗生産施設の視察